

令和3年度 第1回学校評議員会 記録

R3. 6. 22

- <参加者> 評議員 和久田勝也 様 (浜名学園組合事務局長) 欠席
柴田 詩子 様 (湖西市民生委員主任児童委員)
辻村文美子 様 (湖西市教育委員会学校教育課指導主事)
疋田 隆 様 (地域代表)
原田 優子 様 (プライムアースE Vエネルギー株式会社)
※リモートで参加
- 学校関係者 校長、副校長、事務長、小部主事、中部主事、高部主事、
総務課長、教務主任、P T A会長

- 1 開会の言葉 (副校長)
- 2 校長挨拶
- 3 委嘱状の伝達 (校長)
- 4 自己紹介
- 5 本年度の学校経営について (校長、副校長、各部主事)
学校経営書より、学校経営目標、合言葉、今年度の重点、各学部の経営について説明
- 6 学校参観 校内を45分ほど参観
- 7 感想・御意見
 - (A 委員)・ビルメンテナンスの作業は、とても丁寧にしていて感心した。
 - ・教職員の資質を高めるために、他へ出掛けて行って研修をしてもらうことが、とても刺激になり大事だと思う。
 - (B 委員)・見るたびに感心させられる。
 - ・学校目標が学部に分かりやすくおりにている。具体的な姿になっていて、教員が意識できる。学部間のつながりがあり、一貫している。
 - ・消毒のスタッフがいるということは、教員の負担軽減になっている。今後も予算化されるとよい。
 - ・電波状況が良くないということは、災害時のことも考えると改善が必要。
 - (C 委員)・(就学支援の仕事に携わっているため)年長だった子どもたちの成長を感じる。
 - ・学校が温かい雰囲気である。小学校の教員は声や手を掛けすぎてしまうところがあるが、子どもを見守る姿勢や考えさせるところを大切にしていると感じる。
 - (D 委員)・産業現場等における実習で高等部生徒との関わりがあるが、浜名の生徒は笑顔が良く、お話が好きである。指導方針が生徒に伝わっていると感じる。
 - ・浜名の生徒だけでなく、障害をもっている方が、相手に自分の気持ちを伝えることはとても大事なことで感じている、その取り組みが良い。

(PTA 会長)・いつもの授業参観と変わらない子どもたちの姿を見ることができた。

- ・マスクを着けることを嫌がると思っていたが、しっかり着けていて、先生方の指導の賜物だと感じた。

8 その他（副校長）

- ・第2回 11月8日（評議員会前にコンプライアンス委員会も実施）
- ・第3回 2月7日 兼学校関係者評価委員会（コンプライアンス委員会も実施）

9 お礼の言葉（校長）

- ・私たちが掲げている教育目標が、子どもたちまでおりている、響いているという感想をいただきうれしく思う。研修や消毒のスタッフ、電波のことなど、御意見をいただいたことについて考えていきたい。普段の子どもたちの様子も、また見ていただけたらと思う。